

学 科	両学科	担 当 教 員	全教員		
授 業 科 目	倉敷学	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	1 年次・前期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 豊かな芸術と文化の街，日本有数の産業都市としての倉敷市（倉敷・児島・玉島・水島・真備・船穂）を学ぶ。</p> <p>【到達目標】 倉敷市の歴史，文化，産業等についての学びを通して，この地域に対する関心や知識を広げるとともに，地域の魅力づくりや課題解決について考えるために必要な基礎的な力を身につける。</p>				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 半年間の講義全体の概要やキーワードの解説，授業の魅力と意義，到達目標，成績評価方法などのガイダンス（担当：安達） 2. 日本遺産のまち倉敷。歴史とまちづくり（担当：大原） 3. 倉敷市立短期大学のこれまでとこれから（担当：木戸・濱田） 4. 倉敷市の教育と保育（担当：小久保） 5. 第四次くらしきハーモニープランの概要について（担当：眞次・宮崎） 6. 倉敷市の防災（担当：平岡） 7. 倉敷市の姉妹都市(サンクトペルデン，カンザス，クライストチャーチ，鎮江）（担当：長櫓・松浦） 8. 倉敷市の環境学習都市とSDGs（担当：岩崎） 9. 倉敷市の文化（音楽）（担当：三川・別府） 10. 倉敷市の文化（デザイン）（担当：田中・上村） 11. 倉敷市のファッション（写真で見る繊維産地，繊維産地との産学共同研究）（担当：佐藤・道明） 12. 倉敷市のファッション（学生服とジーンズ）（担当：乾・武永） 13. 倉敷市の芸術（担当：浅野・児玉） 14. 倉敷市のアート（担当：趙） 15. 倉敷市のアートと都市景観（担当：松内） <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業においてレポートを課す。 ・各回担当教員の判断により，必要に応じて，ゲストスピーカー，ゲストティーチャーを招く場合もある。 ・定期試験は実施しない。 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	山下祐介（2021）『地域学入門』ちくま新書 （上記のほか授業内において資料を別途適宜配布することがある。）				
準備学習の 具体的内容	授業で扱うトピックに関連する資料を見つけて読んでおく。				
評価の方法 基 準	レポート(100%)				
履 修 上 の 注 意	<ul style="list-style-type: none"> ・各教員の担当順は都合により変更することがある。 ・受講生の学修状況や理解度を見て，進度や順序を調整する場合がある。 				

学 科	両学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	文学		科目区分	基礎科目	2 単 位
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	保育2年次・後期 服美1, 2年次・後期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 本講義では、代表的な英語文学作品を取り上げて文学独特の表現を学ぶことで英語力向上を図るとともに、各作品の文化的・社会的背景についても考察する。また、作品の世界観を掴むために映像作品を活用して理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語文学に関する幅広い知識を習得することができる。 ・文学作品の多様な英語表現を理解することができる。 ・作家の生い立ちや文化的・社会的背景を理解したうえで作品を解釈できる。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス, 文学とは? 2. グリシャ神話 3. ジェフリー・チョーサー『カンタベリー物語』 4. ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』 5. ウィリアム・シェイクスピア『ハムレット』 6. ウィリアム・シェイクスピア『ハムレット』と『ライオンキング』 7. マザーグース 8. アーネスト・ヘミングウェイ『雨の中の猫』 9. 英語俳句 10. 英語俳句の発表 11. 英詩 12. 英詩の発表 13. 創作ライティング 14. 創作ライティングの発表 15. まとめ <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	<p>適宜プリントを配布する。 参考図書：石塚久郎他編著 (2014) 『イギリス文学入門』 三修社</p>				
準備学習の 具体的内容	予習として、文学作品の英文を読み、未知の単語があれば辞書で調べておくこと。				
評価の方法 基 準	<p>受講態度(授業への積極的な参加, コメントペーパー) (30%) 課題 (40%) 発表 (30%)</p>				
履 修 上 の 注 意	英和辞書を持参すること。				

学 科	両学科	担 当 教 員	全 円 子		
授 業 科 目	国語表現	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	保育1年次・前期 服美1, 2年次・前期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 日本語の変遷についての認識を深め, 日々新たに变化する表現を身につける。</p> <p>【到達目標】 本講義を通して国語表現に対する理解を深め, 論理的でわかりやすい文章を書く力とコミュニケーション能力を養う。書きことばの面では, 手紙やビジネス文章など実用的な文章の書き方を修得する。話しことばについては, 日本語のより良い表現方法を学び実践力を身につける。</p>				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 序講・実用的な文章の書き方について 2. リズムと文体 3. 生き生きとした表現 4. メモから原稿執筆まで 5. 手紙の書き方 6. 履歴書・お礼状の書き方(就職活動の準備Ⅰ) 7. ビジネス文章の書き方(就職活動の準備Ⅱ) 8. 説明文の書き方 9. 文章の推敲 10. 実用的な表現の仕方について 11. 話すことについて 12. 敬語の使い方 13. 電話のかけ方と受け方 14. 学習レポート作成 15. まとめ・レポートテスト <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	<p>参考図書 『日本語の作文技術』 (本多勝一, 朝日新聞社) 『ホンモノの文章力』 (樋口裕一, 集英社新書)</p>				
準備学習の 具体的内容	<p>課題とする文章表現について調べる。 講義内容の学習ミニレポートを作成する。</p>				
評価の方法 基 準	<p>講義の学習ミニレポートなど授業への取り組み (40%) レポート (60%)</p>				
履 修 上 の 注 意	<p>特になし</p>				

学 科	両学科	担 当 教 員	矢吹 香月		
授 業 科 目	日本国憲法	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必修・選択	保育 必修 服美 選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	保育1年次・後期 服美1, 2年次・後期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 日本国憲法が保障している基本的人権について、判例を題材として日常生活の側面からアプローチして基本的な解説を行う。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における身近な社会問題から、個を尊重し、他者も尊重するために必要なルールについて考える力を身につける。 ・現代社会の様々な事象を憲法価値の実現の視点で考えることができる。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 法について 2. 憲法とは (1) 憲法の目的 3. 憲法とは (2) 2つの憲法の間 4. 憲法と司法 (1) 裁判所のはたらき 5. 憲法と司法 (2) 違憲審査制について 6. 日本国憲法を生んだ密室の9日間 (DVD) 7. 憲法上の人権 8. 政治の仕組み・内閣のはたらき 9. 憲法と消費者 (1) 憲法と民法の関係 10. 憲法と消費者 (2) 営業の自由と消費者の権利 11. 憲法と消費者 (3) 医療契約から自己決定権について考える 12. 憲法と家族 (1) 結婚について考える 13. 憲法と家族 (2) 女性の人権 14. 憲法と家族 (3) 子どもの人権 15. 人権のまとめ・期末試験 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	『憲法のちから～身近な問題から憲法の役割を考える～』中富公一編 法律文化社				
準備学習の 具体的内容	テキストの該当部分を予習・復習する。 授業の中で、特に調べてくる事項についての調査を求める場合がある。 現代社会で問題となっている事象について、調べておく。				
評価の方法 基 準	試験 (70%) 授業毎に提出するレポート (30%)				
履 修 上 の 注 意	中学校・高等学校の社会科を復習すること。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	秋川 陽一		
授 業 科 目	教育学	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	1, 2 年次・後期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 受講者が自分の受けてきた教育や学び（学校のみならず家庭・地域社会で受けてきた教育・学び）の体験を振り返りながら、「教育とは何か？」について考察することを通して、教育学についての基礎的な知見を獲得することを主題とする。</p> <p>【到達目標】 この考察を通じて、自らの今後の生き方と教育・学びのあり方、さらに、将来、おとな（親）として子どもの教育に関わる際の重要な考え方を身につけることを目標とする。 また、保育・子育て支援のプロを養成する他学科（＝保育学科）での学修内容を知る機会にもしたいので、幼児教育・保育、子育て支援に関する内容について比較的多くの学修時間をとりたい。</p>				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. インTRODakション：私たちの「教育」のイメージ 2. 「教育」の意味（1）－「教育」の2つの方法的視点から 3. 「教育」の意味（2）－「教育」の語義から 4. 教育を受ける（＝学ぶ）ことの意義を考える－「教育基本法」を踏まえて 5. 公教育の場としての「学校」とは？ 6. 公教育制度とは？－公教育の3原則（義務性・無償性・中立性）から 7. 幼児教育・保育制度改革の重要課題とは？－「幼保一元化」と「幼小連携」 8. 乳幼児期の遊びの教育的意義を考える 9. 子どもにとっての「おもちゃ」の意義を考える－「ぶんぶんごま」の製作を通して 10. 乳幼児期の「しつけ」について考える 11. 現代の子ども・子育て支援について考える－その現状と課題 12. 「子どもの権利条約」とは？－その精神と権利内容の概要 13. 「子どもの権利条約」における子どもとおとな（親）の関係性を考える 14. 近未来の教育の在り方を考える－SDGsの実現に向けた教育の在り方 15. まとめ <p>定期試験は実施しない（レポートを課す）</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	<p>テキストは使用せず、毎回、講義レジュメ・資料等の教材を配付する。 参考書として、以下の文献を推薦する。 中澤 渉『日本の公教育 - 学力・コスト・民主主義』中公新書（中央公論社） 大田 堯『教育とは何か』岩波新書【新赤版】（岩波書店）</p>				
準備学習の 具体的内容	毎回の授業後の振り返りを行いながら、次回の授業内容について確認しておくこと。				
評価の方法 基 準	<p>終講時のレポート（80%） 自分の受けてきた「教育・学び年表」の提出（20%）</p>				
履 修 上 の 注 意	本授業は、将来、一人のおとな（親）として、子育て・教育を担うであろう学生を対象としていますが、保育・子育て支援のプロを養成する保育学科での学修も意識して授業を行います。保育学科の学びに関心のある学生の受講を希望します。				

学 科	両学科	担 当 教 員	土肥 直樹		
授 業 科 目	生命科学	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	保育1年次・後期 服美1, 2年次・後期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 動物の行動や生命のしくみ、ヒトの体に関して科学的な知識を深め、人類を含めた生物界のしくみについて身近な例と結びつけて理解する。また、再生医療や宇宙開発などにも最先端の事柄についてもトピック的に触れる。全体を通して、健康や地球環境に関する諸問題に気づき、社会や個人のレベルで考え行動する力を身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物の行動の意味やヒトのからだや病気について興味をもって学習することができる。 ・生物の多様性、自然環境の保全などについて理解し、身近なものと関連づけて考えることができる。 ・再生医療や宇宙開発などについて関心を持つことができる。 ・自ら情報収集をすることで主体的な学びの態度を身に着ける。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、本講座で学習すること 2. 刺激反応系と受容器、効果器の役割 3. 動物の神経系 4. 動物の行動①（生得的な行動） 5. 動物の行動②（習得的な行動） 6. 動物の行動③（野外実習）※野鳥観察 <レポート提出> 7. ヒトのからだと病気① 8. ヒトのからだと病気②（施設見学） <レポート提出> 9. ヒトのからだと病気③（講演ビデオ視聴） <レポート提出> 10. 遺伝のしくみ 11. 発生と再生 12. 生物の多様性 13. 岡山の自然と環境問題 14. 宇宙開発とヒト（遠隔講義） <レポート提出> 15. まとめ、定期試験 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	与えられた項目について各グループ（3～5人を想定）が調べた内容をスライドで作成する。これがテキストとなる。 参考書：石浦章一『小説みたい楽しく読める生命科学講義』羊土社（購入する必要なし）				
準備学習の 具体的内容	授業中にテーマに沿った項目について各グループがインターネット等で情報収集を行う。その内容をスライドにまとめ、発表を行う。そのため、基本的には準備学習は不要。その他、必要な連絡はClassroomで行う。				
評価の方法 基 準	授業の振返りの提出（30%） 課題レポート（20%） 定期試験（50%） ※授業の振返りでは担当した内容の問題作成を行い、それを集めた問題集から定期試験で出題する。				
履 修 上 の 注 意	野外実習、現代医学博物館等の学外施設見学、他大学からの遠隔講義を実施する予定である。別の曜日及び時間帯に設定する可能性がある。施設見学は、現地集合現地解散、交通費等が自己負担となる可能性がある。				

学 科	両学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	数学	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	2 年 次 ・ 前 期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学検定の問題を考えながら，数学の基礎的な知識を学習する。 ・教養としての数学を概観する。 ・数の概念の拡張（負の数，実数，複素数）を通じて，数学的な発想法について考える。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編入試験条件として数学検定準2級（高校1年生程度）以上の取得を目指せるようにする。 ・公務員試験・SPI試験等の就活試験対策に各自が取り組めるようにする。 ・高校数学の基礎事項について理解し，データサイエンスの数学基礎の学習に進めるようにする。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正の数負の数・空間図形（数検5級） 2. 弧の長さと同面積（数検5級） 3. 四則計算・連立方程式（数検4級） 4. 一次関数・確率の基礎（数検4級） 5. 平方根・因数分解（数検3級） 6. 二次方程式・体積比（数検3級） 7. 数と集合・二次関数（数検準2級） 8. 三角比（数検準2級） 9. 図形の性質（数検準2級） 10. 式と証明（数検2級） 11. 関数（数検2級） 12. ベクトル（数検2級） 13. 方程式の解（数検2級） 14. 数検2級課題レポート（数検2級） 15. 試験（数検準2級） <p>受講生の学修状況や理解度を見て，進度や順序を調整する場合があります。</p> <p>【授業の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数検の過去問題に取り組み解答を試みてもらいます。 ・ヒントと解説を行います。 ・解答例を確認します。 ・解答例も参考にして，各自解答を仕上げます。 ・授業で行った問題について準2級の範囲で試験を行います。 ・2級以上の内容に関しては解説をもとにレポート課題を課します。 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	『実用数学技能検定 過去問題集 数学検定準2級』公益財団法人 日本数学検定協会（編集）(教科書)				
準備学習の 具体的内容	高等学校での数学I，数学Aの教科書を復習しておくことが望ましい。				
評価の方法 基 準	「課題」への取り組み態度（10%） 「課題」の提出（10%） レポート課題（20%） 試験（60%）				
履 修 上 の 注 意	なし				

学 科	両学科	担 当 教 員	澤田 陽一		
授 業 科 目	心理学	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	保育2年次・後期 服美1, 2年次・後期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 心は実体ではなく、身体とそれを取り囲む環境を場として働く機能である。これを踏まえ、本講義では様々な視点から、心にまつわる主要な知見を紹介する。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な心理学の知見を通して、人間を多方面から理解する。 ・科学的な心理学の知見を理解し、実生活に位置づける。 ・心理学という学問を好きになる。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学事始 <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・心理学とは何か 2. 心理学の歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・古代/中世の心理学 ・近代以降の心理学 3. 感覚・知覚・認知 <ul style="list-style-type: none"> ・表象とは何か 一世界を把握するプロセス 4. 記憶と学習 <ul style="list-style-type: none"> ・記憶の種類とメカニズム 5. 言語 <ul style="list-style-type: none"> ・言語の機能 ・思考/知能との関係 6. 情動/感情 <ul style="list-style-type: none"> ・情動/感情の役割 ・情動/感情の諸理論 7. パーソナリティ <ul style="list-style-type: none"> ・パーソナリティを捉える方法 ・対人認知と印象形成 8. 発達Ⅰ：他者意識の発達 <ul style="list-style-type: none"> ・人間の発達の特殊性 ・他者身体の獲得と模倣行動 9. 発達Ⅱ：自己意識の発達 <ul style="list-style-type: none"> ・身体的自己からメタ認知へ 10. 社会的影響 <ul style="list-style-type: none"> ・集団から影響を受ける個人の特徴 11. 心の臨床と健康 <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害 ・ストレス理論と健康 12. 脳と心 <ul style="list-style-type: none"> ・脳から見た行動（心理） 13. 社会の中に潜在する共通心理 <ul style="list-style-type: none"> ・損失の過大視と社会的行動 14. 不思議現象を信じる心 <ul style="list-style-type: none"> ・強固な信念を作り出すメカニズム 15. 総括・試験 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	<ul style="list-style-type: none"> ・指定のテキストはなく、毎回オリジナルプリントを配布する。 ・参考図書として『ヒルガードの心理学 第16版』を挙げるが、あくまでオリジナルプリントを活用する。 				
準備学習の 具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義では非常に多くの専門用語が提示されるため、それらを定着するために図書館やインターネット等を活用して復習することが必要である。 				
評価の方法 基 準	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、試験（100%）のみで評価する（状況に応じてオンラインによる試験にすることがある）。 				
履 修 上 の 注 意	<ul style="list-style-type: none"> ・私語厳禁。 ・講義で扱う専門用語が少なくないため講義外での復習が必須である。 				

学 科	保育学科	担 当 教 員	田鹿 紘		
授 業 科 目	経済学入門		科目区分	基礎科目	2単位
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	1年次・前期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 消費活動は皆さんの日常生活の中心となるもので、それ無しには生活することができません。また、社会人となった場合には消費者に対して製品を提供する側となります。この講義では消費に関する問題を学ぶ上で必要な経済理論や時事問題を学んでいきます。またできるだけ現実的な事例を多く用いながら解説を行っていきます。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な現象を需要曲線と供給曲線を用いて説明するための基礎的な知識を有している。 ・少子化、高齢化、グローバル化が経済に与える影響についての知識を有しており、それらの対応策について説明することができる。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学の考え方 2. 消費者の行動 3. 需要曲線 4. 供給曲線 5. 曲線のシフトと均衡の変化 6. 売れる商品・選ばれるサービス 7. 価格決定のメカニズム 8. 価格の弾力性 9. 価格競争以外の競争 10. 売り手と買い手の情報格差 11. 人口構造の変化と経済 12. 高齢社会 13. グローバル化と消費経済 14. 自由貿易 15. まとめ・試験 <p>定期試験は実施する。</p>				
実務経験を 活かす内容	なし				
テ キ ス ト 教 材	<p>教科書は使用しない。プリントを配布する。</p> <p>【参考書】 関谷喜三郎・高木聖『楽しく学ぶ消費経済』創成社 伊ヶ崎大理・大森達也・佐藤茂春・内藤徹『スタートダッシュ経済学』勁草書房</p>				
準備学習の 具体的内容	<p>予習：次回の授業で扱う内容のキーワードを参考書等で調べる（30分） 復習：各授業で配ったプリントを復習する（60分）</p>				
評価の方法 基 準	<p>受講姿勢（20%） 試験（80%）</p>				
履 修 上 の 注 意	なし				

学 科	保育学科	担 当 教 員	岩崎 之勇 (実務経験あり)		
授 業 科 目	経営学入門		科目区分	基礎科目	2 単 位
必修・選択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	1 年次・前期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 経営学に関する基礎的研究, 及び経営学に関する基礎的事例研究について理解する。具体的には, 企業の経営戦略, 経営管理, 人的資源管理, 会計・財務, 生産・研究開発, マーケティングなどの主要論点を学ぶ。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営学の全体像の理解ができています。 ・経営学で用いられる基本的用語の理解ができています。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要・ガイダンス 会社の経営とは 2. 経営戦略(1) 会社はどのような方針で動くのか 3. 経営戦略(2) 会社はどんな仕組みで動いているのか 4. 経営戦略(3) 会社はどう競争するのか 5. マーケティング(1) 会社はどのようにモノを売るのか 6. マーケティング(2) 会社はどのように市場を理解するのか 7. 経営管理と組織(1) 会社はどのように管理されるのか 8. 経営管理と組織(2) 会社はどのような組織なのか 9. 人的資源管理(1) 社員はなぜ働くのか 10. 人的資源管理(2) 社員はどのように報酬を求めるのか 11. 生産管理 会社はどのようにモノを生産するのか 12. 製品開発 会社はどのように製品を開発するのか 13. 会計 会社はカネをどう管理するのか 14. 企業倫理 会社はどんな社会的責任があるのか 15. まとめ・試験 これまでの授業内容を振り返りと試験の実施 				
実務経験を 活かす内容	一般企業での実務経験を生かし, 学びと仕事の架け橋を築き, 学生の学修動機付けを高め, かつ評価・修正課程 (PDCAサイクル) に関して実践的教育を行います。				
テ キ ス ト 教 材	【参考文献】 井原久光 (編) 2016, 『経営学入門・キーコンセプト』 ミネルヴァ書房				
準備学習の 具体的内容	各授業で配ったプリントを復習する。 授業の中で, 特に調べてくる事項についての調査を求める場合がある。				
評価の方法 基 準	試験(80%)と中間レポート(20%)により評価する。				
履 修 上 の 注 意	なし				

学 科	両学科	担 当 教 員	前田 吉広		
授 業 科 目	キャリアデザイン	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	1 年次・前期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 変化の激しい現代社会において、私たち一人ひとりが“自分らしく”生きていくために、自らのキャリアに責任を持ち、主体的にキャリアをデザインしていく力を養うこと。そのための基盤となる「基礎的・汎用的能力（社会人基礎力）」を、実践的な課題とアクティブラーニングの手法を用いて身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身で目標を設定し、それを達成するための計画を立て、行動することができる。 ・自らの行動に対して客観的な視点から評価ができ、行動を改善することができる。 ・自身の“ありたい姿”に近づくために、他者からの意見を取り入れて活用できる。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに、キャリアデザインとは？ 2. “大学生”って何？① -高校生との違い-, 就活シミュレーションワーク（前半）、課題1の発表 3. “大学生”って何？② -教わると学ぶ-, 将来の姿を考える 4. はたらく意味を考える① -何のために働くのか-, 個性を知る 5. はたらく意味を考える② -多様な働きかた- 6. 課題1の相互評価ワーク、課題2に向けて 7. キャリアについて考える、授業の意味を再考する 8. 自分の轍を考える、生まれ育ったところを知る 9. ライフロールを考える、自己PRを考える 10. 課題2の相互評価ワーク、課題3に向けて 11. キャリアプランを作成する① -準備- 12. キャリアプランを作成する② -実践- 13. 職業について考える 14. 課題3の相互評価ワーク、就活シミュレーションワーク（後半） 15. 振り返り、まとめ <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	必要に応じて、資料などを配布する。 参考書：『キャリア基礎講座テキスト 第2版』新井明 玄田有史（日経BP）				
準備学習の 具体的内容	提示された課題に取り組み、定期的に振り返りをおこなうこと。				
評価の方法 基 準	リフレクション（60%）、課題報告レポート（40%）				
履 修 上 の 注 意	積極的な授業参加を期待します。				

学 科	保育学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	情報機器の操作		科目区分	基礎科目	1 単 位
必修・選択	必修	授業形態	演習	開 講 時 期	1 年次・前期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン講義で課題提出と提出確認ができるように講義する。 ・Google Workspace の基本アプリの PC とスマホでの利用を講義する。 ・Windows とワード・エクセル・パワーポイントの基礎を講義する。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業における課題提出・受講方法を習得する。 ・実習を通してワード，エクセル，パワーポイントの操作法を習得する。 ・情報倫理を理解する。 				
授業の内容 進 め 方	<p>受講生がパソコンを実際に操作しながら，Windows ，ワード，エクセル，パワーポイント，インターネット，電子メール等の基本操作に精通するように指導する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PC へのログイン，Google Workspace/Google Classroom 2. Windows ファイル操作，USB メモリ保存/タッチタイピング 【情報倫理1】 みんなにやさしいホームページ 3. Google メール・ドライブ活用・インターネット検索 【情報倫理2】 何がダメで何が OK? 著作権法の改正とネット配信 4. ワード基礎（ページ設定，ページ番号等，図形描画 【情報倫理3】 AI は万能じゃないのね。 5. エクセル基礎（表計算・セル計算平均・標準偏差・分散） 【情報倫理4】 オンライン授業での心がけ 6. エクセル基礎（countif，絶対セル指定。） 【情報倫理5】 フィッシングに釣られるな！ 7. エクセル基礎（円グラフ，ワードへの形式選択貼り付け） 【情報倫理6】 フェイクニュースの社会への影響 8. 動画編集ソフト Adobe Premiere Pro の演習(1) 素材収集・編集 【情報倫理7】 「どこに」「だれと」は秘密にしたい スマホとプライバシー 9. レポート作成演習（エクセル表とグラフのワードへの形式選択貼り付け，テキストボックス） 【情報倫理8】 Cookie でパーソナライズ あなたの意見は？ 10. 動画編集ソフト Adobe Premiere Pro 演習(1) 素材収集 11. 動画編集ソフト Adobe Premiere Pro 演習(2) 編集 12. 動画編集ソフト Adobe Premiere Pro 演習(3) テロップ 13. パワーポイントによる発表資料作成 14. パワーポイント発表1（第1グループ） 15. パワーポイント発表2（第2グループ） <p>情報倫理については1話につき5～10分程度で視聴し，学習する</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	『令和 07 年 IT パスポートの 新 よくわかる教科書 (情報処理技術者試験)(日本語)』 単行本 原山 麻美子(著)；技術評論社				
準備学習の 具体的内容	タッチタイピングの練習をしっかりと行うこと。				
評価の方法 基 準	授業態度 (20%) Classroom 課題 (60%) 発表会 (20%)				
履 修 上 の 注 意	なし				

学 科	保育学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	情報機器の操作II		科目区分	基礎科目	1 単 位
必修・選択	必修	授業形態	演習	開 講 時 期	1 年 次 ・ 前 期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Web サイトが作成できるように演習を行う。 • Web アンケートの集計分析ができるように演習を行う。 • 動画作成ができるように演習を行う。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Web サイト作成の基礎を理解する。 • Web アンケートの実施と分析を修得する。 • 実習を通して動画作成方法を習得する。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. エクセル・スプレッドシート：チェックボックス・プルダウン 【情報倫理】 スマホにマルウェアが？ 2. エクセル・スプレッドシート：countif, 絶対セル指定 【情報倫理】 電子署名はどうして安全？—暗号技術との深い関係 3. エクセル・スプレッドシート：複数回答でのコンマあり countif 【情報倫理】 取り消すのが難しいネットでの発信 4. エクセル・スプレッドシート：散布図・回帰直線・ピボットテーブル 【情報倫理】 スマホにおける個人情報の管理 5. Adobe Premiere Pro 演習(1)テロップ作成 【情報倫理】 プライバシー、アプリ使用の長所と短所 6. Adobe Premiere Pro 演習(2) 編集スマホ動画編集・カット編集 【情報倫理】 著作者の権利 (財産権と人格権) 7. Google フォームによるアンケート集計・分析 (フォーム作成) 8. Google フォームによるアンケート集計・分析 (アンケートの実施) 9. Google サイト作成演習(1)トップページ・サブページ・画像挿入 10. Google サイト作成演習(2) Google フォーム挿入・公開設定 11. Google サイト作成演習(3)サイト構築 12. Web アンケート集計分析とレポート作成 13. WordPress.com による WordPress サイト作成演習(1) Google アカウントとの連携・初期設定 14. WordPress.com による WordPress サイト作成演習(2) 固定ページと投稿ページ 15. Adobe Acrobat DC による PDF ファイル統合・スキャナー・PDF から WORD へのテキスト変換 <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	『令和 07 年 IT パスポートの 新 よくわかる教科書 (情報処理技術者試験)(日本語)』 単行本 原山 麻美子(著)；技術評論社				
準備学習の 具体的内容	タッチタイピングの練習をしっかりと行うこと。				
評価の方法 基 準	授業態度 (20%) Classroom 課題 (80%)				
履 修 上 の 注 意	なし				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	情報処理演習I		科目区分	基礎科目	1 単 位
必修・選択	選択必修	授業形態	演習	開 講 時 期	1 年次・前期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Windows とワード・エクセル・パワーポイントの基礎を講義する。 ・Google Workspace の基本アプリの PC とスマホでの利用を講義する。 ・オンライン講義で課題提出と提出確認ができるように講義する。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習を通してワード，エクセル，パワーポイントの操作法を習得する。 ・情報倫理を理解する。 ・オンライン授業における課題提出・受講方法を習得する。 				
授業の内容 進 め 方	<p>受講生がパソコンを実際に操作しながら，Windows ，ワード，エクセル，パワーポイント，インターネット，電子メール等の基本操作に精通するように指導する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PC へのログイン，Google Workspace/Google Classroom 2. Windows ファイル操作，USB メモリ保存/タッチタイピング 【情報倫理1】 みんなにやさしいホームページ 3. Google メール・ドライブ活用・インターネット検索 【情報倫理2】 何がダメで何が OK? 著作権法の改正とネット配信 4. ワード基礎（ページ設定，ページ番号等，図形描画 【情報倫理3】 AI は万能じゃないのね。 5. エクセル基礎（表計算・セル計算平均・標準偏差・分散） 【情報倫理4】 オンライン授業での心がけ 6. エクセル基礎（countif，絶対セル指定。） 【情報倫理5】 フィッシングに釣られるな！ 7. エクセル基礎（円グラフ，ワードへの形式選択貼り付け） 【情報倫理6】 フェイクニュースの社会への影響 8. 動画編集ソフト Adobe Premiere Pro の演習(1) 素材収集・編集 【情報倫理7】 「どこに」「だれと」は秘密にしたい スマホとプライバシー 9. レポート作成演習（エクセル表とグラフのワードへの形式選択貼り付け，テキストボックス） 【情報倫理8】 Cookie でパーソナライズ あなたの意見は？ 10. 動画編集ソフト Adobe Premiere Pro 演習(1) 素材収集 11. 動画編集ソフト Adobe Premiere Pro 演習(2) 編集 12. 動画編集ソフト Adobe Premiere Pro 演習(3) テロップ 13. パワーポイントによる発表資料作成 14. パワーポイント発表1（第1グループ） 15. パワーポイント発表2（第2グループ） <p>情報倫理については1話につき5～10分程度で視聴し，学習する</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	『令和 07 年 IT パスポートの 新 よくわかる教科書 (情報処理技術者試験)(日本語)』 単行本 原山 麻美子(著)；技術評論社				
準備学習の 具体的内容	タッチタイピングの練習をしっかりと行うこと。				
評価の方法 基 準	授業態度 (20%) 授業中で行う演習課題 (60%) 発表会 (20%)				
履 修 上 の 注 意	なし				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	情報処理演習II		科目区分	基礎科目	1 単 位
必修・選択	選択必修	授業形態	演習	開 講 時 期	1 年次・後期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web サイトが作成できるように演習を行う。 ・Web アンケートの集計分析ができるように演習を行う。 ・動画作成ができるように演習を行う。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web サイト作成の基礎を理解する。 ・Web アンケートの実施と分析を修得する。 ・実習を通して動画作成方法を習得する。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. エクセル・スプレッドシート：チェックボックス・プルダウン 【情報倫理】 スマホにマルウェアが？ 2. エクセル・スプレッドシート：countif, 絶対セル指定 【情報倫理】 電子署名はどうして安全？—暗号技術との深い関係 3. エクセル・スプレッドシート：複数回答でのコンマあり countif 【情報倫理】 取り消すのが難しいネットでの発信 4. エクセル・スプレッドシート：散布図・回帰直線・ピボットテーブル 【情報倫理】 スマホにおける個人情報の管理 5. Adobe Premiere Pro 演習(1)テロップ作成 【情報倫理】 プライバシー, アプリ使用の長所と短所 6. Adobe Premiere Pro の演習(2) 編集スマホ動画編集・カット編集 【情報倫理】 著作者の権利 (財産権と人格権) 7. Google フォームによるアンケート集計・分析 (フォーム作成) 8. Google フォームによるアンケート集計・分析 (アンケートの実施) 9. Google サイト作成演習(1)トップページ・サブページ・画像挿入 10. Google サイト作成演習(2) Google フォーム挿入・公開設定 11. Google サイト作成演習(3)サイト構築 12. Web アンケート集計分析とレポート作成 13. WordPress.com による WordPress サイト作成演習(1) Google アカウントとの連携・初期設定 14. WordPress.com による WordPress サイト作成演習(2) 固定ページと投稿ページ 15. Adobe Acrobat DC による PDF ファイル統合・スキャナー・PDF から WORD へのテキスト変換 <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	『令和 07 年 IT パスポートの 新 よくわかる教科書 (情報処理技術者試験) (日本語)』 単行本 原山 麻美子(著)；技術評論社				
準備学習の 具体的内容	タッチタイピングの練習をしっかりと行うこと。				
評価の方法 基 準	授業態度 (20%) Classroom 課題 (80%)				
履 修 上 の 注 意	なし				

学 科	両学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語 I (コミュニケーション)	科目区分	基礎科目	1 単 位	
必修・選択	保育 必修 服美 選択必修	授 業 形 態	演習	開 講 時 期	1 年次・前期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 本講義では、洋楽を通して英語特有の音声変化やリズムに慣れ親しみながら、基礎的な語彙や表現を習得し、身近な話題や日常生活に関して、英語で簡単なコミュニケーションが取れるようになることを目的とする。また、文法問題や異文化トピックを扱った読解問題、スピーキングなどのアクティビティを通して実践的な英語力の向上を目指す。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむことができる。 ・英語の基礎的な語彙や表現、文法を習得することができる。 ・身近な話題や日常生活に関して、英語で簡単なコミュニケーションを取ることができる。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / Talking to the Moon (Bruno Mars) 2. You're Beautiful (Maria Lawson) 英語の発音記号 3. I Want It That Way (Backstreet Boys) 英語の品詞と機能 4. Complicated (Avril Lavigne) 文法：進行形 5. My Heart Will Go On (Celine Dion) 文法：未来表現 6. With You (Chris Brown) 文法：助動詞 7. Torn (Natalie Imbruglia) 文法：受動態 8. You Are Not Alone (Michael Jackson) 文法：現在完了形 9. You Gotta Be (Des'ree) 文法：比較 10. How Crazy Are You? (Meja) 文法：分詞 11. Last Christmas (Wham!) 文法：不定詞 12. Desperado (Westlife) 文法：関係詞 13. Sunday Morning (Maroon 5) 文法：動名詞 14. All I Want For Christmas Is You (Mariah Carey) 文法：接続詞・前置詞 15. まとめ・試験 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	角山照彦 / Timothy F. Hawthorne 著『ポップスでスタート！基礎英語』成美堂				
準備学習の 具体的内容	必ず予習をして臨み、未知の単語があれば調べておくこと。				
評価の方法 基 準	受講態度(授業への積極的な参加) (20%) 課題 (30%) 試験 (50%)				
履 修 上 の 注 意	特になし				

学 科	保育学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語Ⅱ(コミュニケーション)	科目区分	基礎科目	1 単 位	
必修・選択	必修	授業形態	演習	開 講 時 期	1 年次・後期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 グローバル化の進展に伴い、保育現場においても外国につながりを持つ園児や保護者が増加している。本講義では、外国につながりを持つ園児の入園を想定したテキストを用いて、保育現場に必要な英語の基本的な語彙や表現を習得するとともに、外国につながりを持つ園児や保護者に英語で対応できる保育者の養成を目指す。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の現場に必要な英語の基本的な語彙や表現を習得することができる。 ・遊びや活動などの場面で、英語で園児と簡単なコミュニケーションを取ることができる。 ・日常の保育や子どもの活動の様子について、保護者の方に英語で簡単な説明をすることができる。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / The School Year Begins 新学期・園の人々・園舎 2. Arrival 登園・家族 3. Playtime in the Classroom 室内あそび・欠席の連絡 4. In the Sandbox 外あそび・遊具 5. In the Playground 園庭・けんか 6. Lunchtime 昼食・献立表 7. Changing Clothes and Story Time 着替え・おはなし 8. Nap Time トイレ・お昼寝 9. Blowing Bubbles 病気・身体の名称 10. A Sick Child 緊急連絡 11. Preparation for the Sports Day 行事の案内状・電話連絡 12. The Sports Day 運動会・動作 13. Going for a Walk 散歩 (1) 地図 14. Discovering Autumn 散歩 (2)・交通 15. まとめ・試験 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	森田和子著『新・保育の英語』三修社				
準備学習の 具体的内容	必ず予習をして臨み、未知の単語があれば辞書で調べておくこと。				
評価の方法 基 準	受講態度 (授業への積極的な参加) (20%) 課題 (20%) 小テスト (10%) 発表 (10%) 試験 (40%)				
履 修 上 の 注 意	英和辞書を持参すること。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語Ⅱ(コミュニケーション)	科目区分	基礎科目	1 単 位	
必修・選択	選択必修	授業形態	演習	開 講 時 期	1 年次・後期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 グローバル化の進展に伴い、ファッション業界においても英語が必要不可欠になっている。本講義では、ファッションに関するテキストを用いて、ファッション特有の語彙や表現を習得することを目的とする。また、リスニングやスピーキングなどのアクティビティを通して基礎的な英語力の向上を目指す。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションに関する英語の語彙や表現を習得することができる。 ・服の色や、柄、素材などについて英語で表現することができる。 ・ファッションのトレンドやコーディネートについて英語で説明することができる。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / It's nice to meet you. 人との出会いに関する英語表現 2. What shall I wear? 服の種類を英語で表現 3. What color is it? 服の色や柄を英語で表現 4. What's made of it? 服の素材を英語で表現 5. Do they match? 服のコーディネートについて英語で表現 6. What's hot and what's not? ファッショントレンドについて英語で表現 7. What does he look like? 容姿や特徴について英語で表現 8. How often do you get a haircut? 日課について英語で表現 9. How do you make it? 裁縫について英語で表現 10. How much is it? ショッピングについて英語で表現 11. How does it fit? 小売販売について英語で表現 12. Break a leg! ファッションショーについて英語で表現 13. デザインした服に関する英語の資料作り 14. 発表 15. まとめ <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	小林悠子・マナル・グラント著『ファッションナブル・イングリッシュ』南雲堂				
準備学習の 具体的内容	必ず予習をして臨み、未知の単語があれば辞書で調べておくこと。				
評価の方法 基 準	受講態度 (授業への積極的な参加) (20%) 発表 (40%) 課題 (40%)				
履 修 上 の 注 意	英和辞書を持参すること。				

学 科	両学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語Ⅲ	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	2 年次・前期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 本講義では、映画『ノッティングヒルの恋人』を視聴しながら英語の基礎的な語彙や表現を習得し、身近な話題や日常生活に関して、英語で簡単なコミュニケーションが取れるようになることを目的とする。また、リスニングやスピーキングなど様々なアクティビティを通して、実践的な英語運用能力の向上を目指す。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語特有の音声変化を理解し、簡単な英会話を聞き取ることができる。 ・基礎的な英語の語彙や表現を習得することができる。 ・身近な話題や日常会話に関して、自分の気持ちや考えを表現し、英語で簡単なコミュニケーションを取ることができる。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / William's Notting Hill & 'She' (1) Vocabulary, Chunk Check, True or False Questions, Who said it? 2. William's Notting Hill & 'She' (2) Comprehension / Discussion Questions, British English vs. American English, Pronunciation Check 3. Surreal, But Nice (1) Vocabulary, Chunk Check, True or False Questions, Who said it? 4. Surreal, But Nice (2) Comprehension / Discussion Questions, British English vs. American English, Pronunciation Check 5. A Goddess Is A Movie Star (1) Vocabulary, Chunk Check, True or False Questions, Who said it? 6. A Goddess Is A Movie Star (2) Comprehension / Discussion Questions, British English vs. American English, Pronunciation Check 7. Birthday Party 8. A Date With Anna 9. She's Gone 10. She's Back 11. Rude Awakening—Ain't No Sunshine 12. Like Me Again 13. The Right Decision (1) Vocabulary, Chunk Check, True or False Questions, Who said it? 14. The Right Decision (2) Comprehension / Discussion Questions, British English vs. American English, Pronunciation Check 15. まとめ・試験 				
実務経験を 活かす内容					
テキスト 教 材	Richard Curtis 著 神谷久美子・Kim R.Kanel 編著 映画総合教材『ノッティングヒルの恋人』新装版, 松拍社				
準備学習の 具体的内容	必ず予習をして臨み、語彙と文法問題は解いておくこと。				
評価の方法 基 準	受講態度 (授業への積極的な参加) (20%) 課題 (30%) 試験 (50%)				
履 修 上 の 注 意	英和辞書を持参すること。				

学 科	両学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語IV	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	2 年次・後期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 本講義では、映画『トゥルーマン・ショー』を視聴しながら英語の基礎的な語彙や表現を習得し、身近な話題や日常生活に関して、英語で簡単なコミュニケーションが取れるようになることを目的とする。また、リスニングやスピーキングなど様々なアクティビティを通して、実践的な英語運用能力の向上を目指す。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語特有の音声変化を理解し、簡単な英会話を聞き取ることができる。 ・基礎的な英語の語彙や表現を習得することができる。 ・身近な話題や日常会話に関して、自分の気持ちや考えを表現し、英語で簡単なコミュニケーションを取ることができる。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / Meeting Truman (1) Vocabulary, Chunk Check, True or False Questions, Who said it? 2. Meeting Truman (2) Comprehension / Discussion Questions, Pronunciation Check 3. Fear of the Ocean (1) Vocabulary, Chunk Check, True or False Questions, Who said it? 4. Fear of the Ocean (2) Comprehension / Discussion Questions, Pronunciation Check 5. Lauren & Sylvia (1) Vocabulary, Chunk Check, True or False Questions, Who said it? 6. Lauren & Sylvia (2) Comprehension / Discussion Questions, Pronunciation Check 7. Something Strange Is Going on 8. Truman Tries to Leave 9. Truman and Meryl Go for a Ride 10. The Reunion 11. Truman's Past Revealed 12. Truman Disappears 13. Truman Finds Out (1) Vocabulary, Chunk Check, True or False Questions, Who said it? 14. Truman Finds Out (2) Comprehension / Discussion Questions, Pronunciation Check 15. まとめ・試験 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	Andrew Nicole 著 Kim R.Kanel・神谷久美子編著 映画総合教材『トゥルーマン・ショー』新装版, 松拍社				
準備学習の 具体的内容	必ず予習をして臨み、語彙と文法問題は解いておくこと。				
評価の方法 基 準	受講態度 (授業への積極的な参加) (20%) 課題 (30%) 試験 (50%)				
履 修 上 の 注 意	英和辞書を持参すること。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	石井 成人		
授 業 科 目	フランス語 I	科目区分	基礎科目	1 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	演習	開 講 時 期	1, 2 年次・前期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 外国語として既習の英語とはまた異なる第二外国語の基本文法について、一般教養として確認していく。一般的ヨーロッパ各国言語の基本的な文法内容（男性名詞、女性名詞、動詞の活用変化等）をフランス語で経験する。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語と同じアルファベットで表記されるフランス語の発音を習得する。 ・主要各国言語で一般的な主語に対する様々な動詞活用変化に対する教養を、フランス語で経験、獲得する。 ・学習した基本文法をふまえて、簡単なフランス語日常会話にふれて自分の言葉として運用する。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 冠詞と名詞 3. 演習（冠詞と名詞） 4. ER 規則動詞 5. 演習（ER 規則動詞） 6. 否定形・疑問形 7. 演習（否定形・疑問形） 8. 不規則動詞 AVOIR 9. 演習（不規則動詞 AVOIR） 10. 不規則動詞 ETRE 11. 演習（不規則動詞 ETRE） 12. 形容詞の性・数一致 13. 演習（形容詞の性・数一致） 14. まとめ（学習してきた文法内容全体の再確認） 15. 総復習・試験 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	教室にてプリント配布，また参考書・辞書等指示 参考：『プチロワイヤル仏和辞典』（旺文社），『コンコルド和仏辞典』（白水社）				
準備学習の 具体的内容	通常授業の中で頻繁に行われる演習において，常に既習仏語文法項目を確認，復習，整理しつつ，学習を進めていく				
評価の方法 基 準	通常講義内でのフランス語の前向きな学習態度（30%） 課題（30%） 複数回予定の小試験（20%） 定期試験（20%） の総合評価				
履 修 上 の 注 意	前後期通じて第二外国語・フランス語の学習を行うので，基本的に後期の受講は，前期履修者，またはフランス語学習経験あり，とする。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	石井 成人		
授 業 科 目	フランス語Ⅱ	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	1, 2 年次・後期
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 外国語として既習の英語とはまた異なる第二外国語の基本文法について、一般教養として確認していく。一般的ヨーロッパ各国言語の基本的な文法内容（男性名詞、女性名詞、動詞の活用変化等）をフランス語で経験する。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語と同じアルファベットで表記されるフランス語の発音を習得する。 ・主要各国言語で一般的な主語に対する様々な動詞活用変化に対する教養を、フランス語で経験、獲得する。 ・学習した基本文法をふまえて、簡単なフランス語日常会話にふれて自分の言葉として運用する。 				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 前期の復習 2. 仏語動詞半過去形 3. 演習（時制活用練習） 4. 仏語動詞・複合過去形（助動詞 ETRE の複合過去） 5. 演習（助動詞 ETRE 過去形活用練習） 6. 仏語動詞・複合過去形（助動詞 AVOIR の複合過去） 7. 演習（助動詞 AVOIR 過去形活用練習） 8. 人称代名詞 9. 演習（代名詞書き換え練習） 10. 仏語動詞・未来形 11. 演習（未来形活用練習） 12. 代名動詞その1（代名動詞の現在形） 13. 代名動詞その2（代名動詞の複合過去形） 14. 演習（代名動詞仏作練習） 15. 総復習・試験 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	教室にてプリント配布，また参考書・辞書等指示 参考：『チロワイヤル仏和辞典』旺文社，『コンコルド和仏時点』（白水社）				
準備学習の 具体的内容	通常授業の中で頻繁に行われる演習において，常に既習仏語文法項目を確認，復習，整理しつつ，学習を進めていく。				
評価の方法 基 準	通常講義内でのフランス語の前向きな学習態度(30%) 課題 (30%) 複数回予定の小試験 (20%) 定期試験 (20%) の総合評価				
履 修 上 の 注 意	前後期通じて第二外国語・フランス語の学習を行うので，基本的に後期の受講は，前期履修者，またはフランス語学習経験あり，とする。				

学 科	両学科	担 当 教 員	濱田 雄仁		
授 業 科 目	健康科学概論	科目区分	基礎科目	1 単 位	
必修・選択	保育 必修 服美 選択	授 業 形 態	講義	開 講 時 期	1年次・通年 (1/4)
授業の主題 標	<p>【授業の主題】 健康を支える要素として、主に運動・スポーツを取り上げ、体力の保持増進やストレス解消、レクリエーションといった機能を体験的に理解する。※授業は、後期の12月頃から7回行います。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・運動が心身に与える影響について説明できる。 ・スポーツ・運動の効果的な行い方について理解できる。 ・体力を保持増進する方法について理解できる。 				
授業の内容 進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス、ペアストレッチの効能の実践的理解 2. 運動・スポーツの意義：体力や生活リズムの向上、ストレス解消等の実践的理解 3. 体力の向上のためのトレーニングの実践的理解 4. 自己の体力の理解①体力テストの実践 5. 自己の体力の理解②体力テストの評価 6. 体力の向上を意図した運動・スポーツ 7. レクリエーション機能を重視した運動・スポーツ <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	『大学生のスポーツと健康生活』（福岡大学スポーツ科学部） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 必要に応じて、適宜資料を配布する。				
準備学習の 具体的内容	普段から生活リズムを整え、自己の健康の保持に努めること。				
評価の方法 基 準	各回の実践内容に関する提出物（100%）				
履 修 上 の 注 意	本授業は通年科目のため、履修登録は前期に行うこと。なお、「スポーツ」と内容を組み合わせて行うため、服飾美術学科の学生は、「スポーツ」を履修せずに、本授業のみを履修することはできません。				

学科	両学科	担当教員	濱田 雄仁		
授業科目	スポーツ	科目区分	基礎科目	1 単 位	
必修・選択	保育 必修 服美 選択	授業形態	実技	開講時期	1 年次・通年 (3/4)
授業の主題 目 標	<p>【授業の主題】 運動・スポーツに親しむ姿勢を育むとともに、必要な技能を身に付け、体力の保持増進を図るために、様々なスポーツを実践する。※授業は、前期から後期中頃までの23回で、体育館で行います。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・運動の意義について理解できる。 ・各種のスポーツ・運動の特性について説明できる。 ・体力を保持増進する方法について理解できる。 				
授業の内容 進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス, ドッジボール 2. アルティメット①: 基礎的技術の練習 3. アルティメット②: 応用的技術の練習 4. アルティメット③: ゲームとスキルテスト 5. フットサル①: 基礎的技術の練習 6. フットサル②: 応用的技術の練習 7. フットサル③: ゲームとスキルテスト 8. 卓球 (ダブルス) ①: 基礎的技術の練習 9. 卓球 (ダブルス) ②: 応用的技術の練習 10. 卓球 (ダブルス) ③: ゲーム 11. 卓球 (ダブルス) ④: ゲームとスキルテスト 12. ソフトバレーボール①: 基礎的技術の練習 13. ソフトバレーボール②: 応用的技術の練習 14. ソフトバレーボール③: ゲーム 15. ソフトバレーボール④: ゲームとスキルテスト 16. バドミントン (ダブルス) ①: 基礎的技術の練習 17. バドミントン (ダブルス) ②: 応用的技術の練習 18. バドミントン (ダブルス) ③: ゲーム 19. バドミントン (ダブルス) ④: ゲームとスキルテスト 20. バスケットボール①: 基礎的技術の練習 21. バスケットボール②: 応用的技術の練習 22. バスケットボール③: ゲーム 23. バスケットボール④: ゲームとスキルテスト <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容					
テキスト 教 材	『大学生のスポーツと健康生活』(福岡大学スポーツ科学部) 必要に応じて、適宜資料を配布する。				
準備学習の 具体的内容	普段から軽い運動(体操やストレッチ, ウォーキング等)を行い、体力や体調の維持に努めること。				
評価の方法 基 準	各運動に取り組む姿勢, 会場設営や所属チームへの貢献度 (10%) スキルテスト (90%)				
履 修 上 の 注 意	寒暖差の大きい体育館で身体的負荷の大きい運動を行うため、教員の指示に従い、意欲的に取り組むこと。 ジャージ等の運動ができる服装, 体育館用シューズ, タオル, 水分補給用の飲み物を準備して臨むこと。				